

# 通 告 質 問 一 覧 表

(平成26年9月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	4	7 番 宮 田 好 夫	<p>1 災害への対応について</p> <p>(1) 豪雨等により市内に災害が発生したとき、またはその恐れがあるときの市の防災体制について問う</p> <p>① 災害対策本部の設置基準と本部体制は</p> <p>② 各地域局、地域市民センターの体制や役割は</p> <p>③ 市民への情報伝達手段は</p> <p>④ 消防団や自主防災組織への連絡体制や出動要請は</p> <p>⑤ 高齢者世帯や要援護者の緊急避難体制は</p> <p>(2) 防災、減災に向けて</p> <p>① 防災マップによると市街地では、約南半分が浸水の可能性があるとしている。この要因と対策はどうなっているのか</p> <p>② 土砂災害警戒地域は市内に 910 カ所あり、そのうち土石流警戒地域は 385 カ所もある。指定地域の周知と、避難場所や避難経路の検討が必要ではないか</p> <p>③ 児童、生徒に対して、地域の危険箇所や避難場所を話す機会をつくってはどうか</p> <p>④ 希望する自治会に、土のう袋と砂の支給はできるのか</p> <p>⑤ 災害救助犬派遣協定を結んだらどうか</p>
2	1	15 番 宮 田 公 人	<p>1 人口減少と行財政改革について</p> <p>(1) 人口減少、財政環境の悪化、扶助費など市民生活にかかわる財政出動の増加が予想される中でどのように行財政改革を進めていくのか</p> <p>(2) 組織の改革をいかに進めるのか</p> <p>(3) 事務事業の見直しをいかに進めるのか</p> <p>2 地域医療について</p> <p>(1) 成羽病院の経営状況はどのようになっているのか</p> <p>(2) 成羽病院の地方公営企業法全部適用についてどのように対応するのか</p> <p>(3) それぞれの診療所の適正配置をどう考えていくのか</p> <p>3 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 普通財産への変更により、どれくらいの補助金返還額が生ずるのか</p> <p>(2) 資産売却に当たってどのような価格設定を行うのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	1	15 番 宮 田 公 人	<p>(3) どのような基準で公募をかけるのか</p> <p>(4) 売却先は、誰がどのような形で決定するのか</p> <p>(5) 公募を含め、どのセクションが責任を持って管理するのか</p> <p>4 図書館建設と複合施設について</p> <p>(1) 図書館民営化について教育委員の中からも慎重意見が相次いでいるが、教育委員会内部の議論経過の説明を求める</p> <p>(2) 高梁市立図書館協議会においても図書館民営化について疑問や要望があったようだが、議論経過の説明を求める</p> <p>(3) 高梁商工会議所と市内の書店業者から要望書が提出されているが、対応状況を確認する</p> <p>(4) 「高梁中央図書館建設基本計画」策定時からの経緯を振り返ってみると、その内容は大きく変質している。市民への説明責任、合意形成という観点からも、審議会を再設置し現在の計画をベースとした見直し作業が必要ではないか</p>
3	3	16 番 川 上 博 司	<p>1 産前産後のサポートの充実</p> <p>(1) 市として産前産後相談員を配置すべきではないか</p> <p>(2) 妊婦健診の交通費と出産準備宿泊費を助成すべきではないか</p> <p>(3) 子ども支援ヘルパー派遣事業を行うべきではないか</p> <p>(4) 産前産後の歯科健康診査を助成すべきではないか</p> <p>(5) 産後うつへの支援はどのようにしていくのか</p> <p>2 子どもを育てやすい環境整備</p> <p>(1) 小児救急医療電話相談事業を周知徹底すべきではないか</p> <p>(2) 乳幼児の事故防止の啓発をどのように進めていくのか</p> <p>3 介護支援ボランティアポイント制度</p> <p>(1) 高齢者による介護支援ボランティアポイント制度を導入すべきではないか</p>
4	8	2 番 石 部 誠	<p>1 高梁中央図書館は教育委員会の直営で行うべきではないか</p> <p>(1) 市長の言う「マネジメントしてくれる人を探していた」は、いつ頃から、どのようなマネジメントをしてくれる人を探していたのか</p> <p>(2) 市長の言う「にぎわいの図書館」は直営では不可能なのか</p> <p>(3) 図書館建設計画策定委員会、ワークショップ、アンケート調査で出された意見や要望はどのように集約されているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	8	2 番 石 部 誠	<p>(4) 新市発足10年に当たり、どのような図書館をつくろうとしているのか</p> <p>(5) CCC提案の「実現する6つの価値」の内容はどのようなものか</p> <p>(6) 複合施設管理運営費の比較を行っているが、試算根拠の説明を求める</p> <p>(7) CCCと教育委員会の関係はどうなるのか</p> <p>(8) 「にぎわいの図書館」は新市にふさわしい図書館なのか</p> <p>(9) 業者委託ではなく、まちづくり、人づくりを展望した利用者、職員、ボランティア、業者まで全ての市民が成長できる市民参加型の図書館がふさわしいと思うがどうか</p> <p>2 福地小学校の統廃合は地元合意をもって行うこと</p> <p>(1) 現在の進捗状況と今後の展望は</p> <p>(2) 幼保一体化で福地幼稚園の今後をどう考えているのか</p> <p>(3) 福地地域に分譲宅地の造成、空き家対策、企業や企業住宅の誘致、移住者の受け入れなどを行い、地域の発展で住民や子供をふやす施策を進めることはできないのか</p> <p>(4) 福地小学校の統廃合は地元合意をもって行うこと</p> <p>3 新市発足10年と総合計画後期基本計画について</p> <p>(1) 前期基本計画5年間の総括と教訓をどのように分析するのか</p> <p>(2) 合併から10年経過するが、前期基本計画5年の間に市民生活はどのように変化し、現在の市民の切実な要望をどのように受け止めているのか。周辺地域との格差問題、高齢化の問題、貧困の問題などに対して市民の毎日の暮らしを支えるきめ細かい対応が必要ではないか</p> <p>(3) 市政運営を箱物建設から人、地域づくりへ転換するべきではないか</p>
5	9	1 番 石 井 聡 美	<p>1 駅前複合施設について</p> <p>(1) 現在の計画では、市民活動を行う場所がない。図書館に必要な機能として上げられている「交流・研修スペース」はどのように確保するのか</p> <p>(2) 図書館の運営についての議論や検討に市民が参加できる機会を設けるべきではないか</p> <p>2 防災対策について</p> <p>(1) 広島災害では、避難所で被災した方がいた。高梁市が避難所に指定している場所は、被災する危険はないのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	9	1 番 石 井 聡 美	<p>(2) 防災無線にかわる広域的な防災情報伝達システムとして、新庁舎に市民とともに運営するコミュニティFM局を設置してはどうか</p> <p>3 市の広報活動について</p> <p>(1) 市の広報紙に、市民が編集するページを設けたり、市民ライターを起用することで、行政への市民参加を高めることができるのではないかと。一方的な情報発信だけではなく、コミュニティ寄りの編集を行ってはどうか</p> <p>4 移住者、転入者への説明について</p> <p>(1) 高梁市に引っ越してきたばかりの人に、市が提供しているサービスをわかりやすく説明するためのパンフレット、専用サイトなどをつくってはどうか</p>
6	2	6 番 内 田 大 治	<p>1 農業施策について</p> <p>(1) 人・農地プランについて</p> <p>① 市は人・農地プランの作成を推進しているが、この制度の必要性についてどのように認識しているのか</p> <p>② 本市における本制度への取り組みの現状と今後について問う</p> <p>③ 本市は中山間地域であり、農地集積や経営体確保等の問題点が多い。どのような支援をしているのか</p> <p>④ 農地中間管理機構が創設されたが、本制度における農地集積にかかわっていくのか</p> <p>⑤ 本制度への取り組みについて、地域農家に対して主旨が十分説明されていないのではないかと</p> <p>⑥ 市は本制度決定後の取り組みをどのように支援していくのか</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払制度について</p> <p>① 第3期直接支払制度は平成26年度末で終了する。国においては日本型直接支払制度を創設すると決定しているが、いまだ具体的な説明がない。市は内容を把握しているのか</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 市街地は公立幼稚園2カ所、保育園1カ所であり、幼稚園は定員を大きく割っている。一方、保育園は定員をオーバーしている現状である。市として早急な対応が必要ではないかと</p> <p>(2) 園児の送迎については保護者の責任になっている。地域の状況に合わせ、公的な送迎をすべきではないかと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	5	5 番 三 村 靖 行	<p>1 自然災害への対応について</p> <p>(1) 大雨による災害に対して防災マップを作成して対応しているが、機能しているのか</p> <p>(2) 市内には危険箇所が多く見受けられる。急傾斜地崩壊対策事業を取り入れて、災害から地域を守る対応をするべきではないか</p> <p>(3) 建築物の耐震改修の促進に関する法律が平成25年11月に改正された現在において、市内にある建物の耐震化率はどのようになっているのか</p>
8	6	8 番 森 田 伸 一	<p>1 吹屋国際交流ヴィラの活用について</p> <p>(1) 岡山県から平成21年3月末をもって、高梁市へ施設移管された吹屋国際交流ヴィラの今後の活用について問う</p> <p>2 外国人観光客の誘致について</p> <p>(1) 交流人口100万人を目指す高梁市にとって、外国人観光客の誘致が大きな課題と考えるが、現状と今後の戦略について問う</p> <p>3 「備中高梁元気！プロジェクト」について</p> <p>(1) 平成21年度総務省が創設した地域力創造アドバイザー事業を活用し、高梁市の交流人口及び観光客の増加を目的に実施している備中高梁元気！プロジェクト事業の取り組みについて問う</p> <p>(2) この事業の最終目的であった地域別の先導的プロジェクトの成果と問題点について問う</p>
9	7	4 番 黒 川 康 司	<p>1 旧成羽高等学校跡地活用について</p> <p>(1) 活用方針を問う</p> <p>2 一級河川の維持管理について</p> <p>(1) 近年、異常気象による集中豪雨が頻繁に発生している状況であり、防災上でも河川のしゅんせつが必要な箇所がある。河川管理については、岡山県管理となっているが、市として岡山県へ河川のしゅんせつ要望を行っているのか問う</p> <p>(2) 河川のしゅんせつにより発生した土砂の処分についてどう考えているのか問う</p> <p>3 市管理の道路の維持管理について</p> <p>(1) 過疎化、高齢化が進む中で、市管理の道路の草刈りなど地元が行っていたことが困難となってきているところもあるが、市として今後どのように維持管理をしていくのか考え方を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	10	19番 難波英夫	<p>1 高齢者が安心して暮らせる医療介護について</p> <p>(1) 医療・介護総合推進法の施行に伴う市への影響と対応について</p> <p>① 要支援1、2の方の訪問介護、通所介護の廃止にどのように対処するのか</p> <p>② 市に代替サービスを求めているが、サービス内容、利用者負担はどうなるのか</p> <p>③ 特別養護老人ホームへの入所は要介護3以上となるが、市としての対策はあるのか</p> <p>④ 一定以上の所得のある利用者は、介護サービス利用料が1割から2割となるが、市として1割分の負担はできないか</p> <p>⑤ 病院への入院の短期間化を推進しており、入院難民がふえると予想される。対策はないのか</p> <p>⑥ 特別養護老人ホームも病院へも入れない高齢者について成羽病院で救済できないか</p> <p>2 本市の農業を守る施策について</p> <p>(1) 農協組織の解体が議論されているが、本市の農業振興には欠かせない団体であり、市としても解体が行われないよう取り組むべきではないか</p> <p>(2) 農業委員会の見直しと農地法改悪が議論されているが、農家を蚊帳の外に置いた見直しを行わないよう国に求めるべきではないか</p> <p>(3) 農業振興計画の策定について</p> <p>① 農業委員会、農業再生協議会で協議した経緯があるのか</p> <p>② 農家の将来に希望が見える振興計画を策定するため専門の調査研究委員会を設置してはどうか</p> <p>3 行財政改革における公共施設の見直しについて</p> <p>(1) 公共施設の見直しは、維持管理費削減のために進められているのか</p> <p>(2) 廃止、休止施設の設置目的は達成されたのか。活用の努力はされたのか</p> <p>(3) 公共施設の画一的な利用料金の有料化は行わないこと</p> <p>(4) 施設の見直しは十分な市民合意が必要であり、合意のない見直しは行わないこと</p>
11	11	9番 大森一生	<p>1 駅前複合施設とその経済振興について</p> <p>(1) 新図書館を核にした駅前複合施設の公募と指定管理者制度の課題と対策について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	11	9 番 大 森 一 生	<p>(2) 駅前複合施設建設を契機とした経済振興について</p> <p>① 人口減少、少子・高齢化など本市を取り巻く環境は非常に厳しい状況の中、どのように地域へそのにぎわいを波及させていくのか。そのグランドデザイン、戦略を聞く</p> <p>② 多地域居住による中心市街地の活性化と高梁版コンパクトシティー、スローシティーと景観条例による資産形成について</p> <p>2 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」と住民福祉について</p> <p>(1) 「ゆ・ら・ら」の目的論的アプローチからみる福祉行政について</p> <p>(2) 「ゆ・ら・ら」のサンクコストとその機会費用からみる福祉と地域振興への可能性について</p>